

2018年3月22日
JR東日本仙台支社

福島県産「桃」を使用した6次産業化商品 「ふくしま桃シリーズ」を発売します

JR東日本グループでは地域再発見プロジェクトの取組みの一環として、地域の皆さまとともに6次産業化に取り組んでいます。2016年3月発売の第1弾「仙台きなこシリーズ」、2017年3月発売の第2弾「山形ラ・フランスシリーズ」に続き、3月30日より第3弾「ふくしま桃シリーズ」を発売します。

1 開発ストーリー

福島県は桃の収穫量が全国2位。震災後、取引量は震災前の水準を上回っていますが、平均取引価格は回復していません。

今回、福島県産「桃」の価値向上を目的に、福島市の生産者が栽培した桃（あかつき）を使用し、郡山市の老舗菓子舗とともに2種類の商品を開発。商品を通じて駅から福島の美味しさと元気を発信していきます。

2 商品概要

商品名	ふくしま桃の和菓子	ふくしま桃のフィナンシェ
パッケージ		
価格	1,296円(税込)	1,290円(税込)
内容量	6個入	8個入
販売箇所	郡山市内限定販売 (1)郡山駅のおみやげ処・NEWDAYS 3店舗 (2)エスパル郡山 かのや (3)かのや本店	(1)福島県内の主要駅（福島駅・郡山駅・須賀川駅・新白河駅・会津若松駅） 及び仙台駅のおみやげ処・NEWDAYS 各店 (2)エスパル福島・郡山 かのや (3)エスパル仙台 東北めぐり いろいろ (4)かのや直営9店舗・通信販売
特徴	桃の果実を溶かした白餡を桃山生地で包み、職人が一つ一つ丁寧に成形した和菓子。 1日50箱限定販売。	桃の風味を最大限引き出す為に桃の果実を練り込んだ生地に自然由来の桃グミをトッピングして焼き上げた洋菓子。

3 関係者

1次(生産) ふくしま土壤ネットワーク

2次(加工) 株式会社かんの屋

3次(販売) JR東日本グループ(JR東日本東北総合サービス株式会社・株式会社 JR東日本リテールネット)

団体名(会社名)	ふくしま土壤ネットワーク	株式会社かんの屋
概要	 <p>震災後に福島のブランドイメージの向上・果樹産地発展を目的に設立。独自に放射能検査や土壌分析を踏まえた勉強会・イベント出店等を行っています。</p>	 <p>1860年菅野文助<small>かんのぶんすけ</small>が城下町三春において<small>ゆ</small>餅子の製造・販売を開始。代表菓子「家伝ゆべし」は、三春の故郷の味として古くから親しまれています。</p>
代表者	<small>たかはしけんいち</small> 高橋賢一	<small>はつみかずとし</small> 初見和俊

地域再発見プロジェクト

沿線地域の皆さと連携し、鉄道ネットワークを活かしながら、産直市の展開・農産加工商品の開発等を通じて、地域の雇用創出や交流人口の創出を目指すプロジェクトの総称。JR東日本グループでは6次産業化によるものづくりを「のもの1-2-3」と名付け、各地で様々な取り組みを行っています。

